

平成20年度 薬学研究科修士課程選抜入学試験問題

科目番号	科目名	問題枚数	受験番号	氏名
16	臨床薬学 (臨床薬学部門)	No. 1 3枚		

I. 下記の患者プロフィールを用いて、問1～問5に対する正しい番号を一つ選び、解答欄に記入しなさい。(10点)

患者名：白金 学(男性)・42歳 入院日：平成19年7月7日 身長：168cm 体重：60kg
 主訴：上腹部の激痛 アレルギー：(薬物)なし (食物)なし
 既往歴：なし
 現病歴：職場の歓迎会で大量飲酒した。帰宅後、夜間より発熱、上腹部に激痛が出現し、救急入院した。
 入院時のバイタルサイン：血圧160/95 mmHg, 脈拍数110/分(リズムは整), 体温38.2℃
 入院時の主な所見：腹部圧痛(++), 吐き気(+), 皮膚または眼球結膜の黄疸(なし), 腹水(なし)
 入院時の検査所見：白血球数12,000/mm³, 血小板25 (×10⁴/mm³), 血糖値125 mg/dL
 血清アミラーゼ1,800 IU/L (正常60～200)、
 入院時指示： 禁食、飲水不可
 入院時処方： 塩酸モルヒネ(10mg) 我慢できない疼痛を訴えたときに1回静脈注射
 ファモチジン(20mg) + 生理食塩液20mL 1日2回 静脈注射
 メシル酸ナファモスタット(10mg) + 生理食塩液500mL 1日2回 点滴静注
 メロペネム水和物(0.5g キット) 1日2回 点滴静注

問1. 推測される疾患名として、正しいものはどれか。

- 1 急性心不全
- 2 急性膵炎
- 3 急性腸閉塞
- 4 急性腎不全
- 5 急性心筋梗塞

解答

問2. 処方指示について医師へ助言すべき内容として、正しいものはどれか。

- 1 ファモチジンは1日4回投与に変更する。
- 2 メシル酸ナファモスタットを経口剤のメシル酸カモスタットに変更する。
- 3 生理食塩液を5%ブドウ糖注射液に変更する。
- 4 メロペネム水和物をアムホテリシンBに変更する。
- 5 モルヒネをペンタゾシンに変更する。

解答

問3. メシル酸ナファモスタットの作用に関する記述のうち、正しいものはどれか。

- 1 COMT阻害作用を有し、オッジ括約筋を弛緩させて腹痛を軽減させる。
- 2 胃粘膜壁細胞のヒスタミンH₂受容体を選択的に遮断し、胃酸分泌を抑制する。
- 3 脂肪、タンパク質、デンプン、繊維素を分解して消化・吸収を促進する。
- 4 トリプシン、カリクレイン、エラスターゼ、プラスミンなどを強力に阻害する。
- 5 膵、肝組織の壊死を主とする変性を軽減するとともに、膵石を溶解する。

解答

問4. 本症例の腹部X線単純CTで確認される所見として、正しいものの組合せはどれか。

- a 膵内石灰化
- b 膵腫大
- c 肝臓内異常陰影
- d 膵周囲の浸出液貯留
- e 肝脾腫

- 1 (a, b) 2 (a, c) 3 (b, d) 4 (c, e) 5 (d, e)

解答

採点

[]

平成20年度 薬学研究科修士課程選抜入学試験問題

科目番号	科目名	問題枚数	受験番号	氏名
16	臨床薬学 (臨床薬学部門)	No. 2 3枚		

問5. 薬剤師が入院時インタビューで本患者に確認すべきことで、正しいものの組合せはどれか。

- a 持参薬および常用している医薬品の有無について
 - b 飲酒歴と飲酒量、飲酒頻度について
 - c 入院中急変時の連絡者と連絡先について
 - d グレープフルーツジュースの嗜好について
 - e セントジョーンズ・ワートを含む健康食品の日常的摂取の有無について
- 1 (a, b) 2 (a, c) 3 (b, d) 4 (c, e) 5 (d, e)

解答

II. 次のA～Eは添付文書中で用いられる医薬品の副作用である。各副作用とその意味の対応が正しいものは○を、誤っているものは×を解答欄に記入しなさい。

(10点)

A 悪性症候群 (Syndrome malin)

—主に抗うつ薬 (SSRI) の投与中に惹起され、不安、興奮、錯乱などの精神症状と発汗、頻脈、血圧変動などの自律神経症状がみられる。

解答

B 偽アルドステロン症

—カンゾウを含む漢方薬などの投与により惹起され、アルドステロン過剰分泌と同様の症状 (全身倦怠感、脱力感、不整脈などの) と高血圧、低カリウム血症を呈する。

解答

C Stevens-Johnson 症候群

—抗菌薬やNSAIDなどの投与により惹起され、高熱、食欲不振、全身倦怠感などの感染症様の前駆症状に続き、高熱とともに口唇、口腔内、陰部などの粘膜疹、浸出性紅斑などの皮疹を生じる。急性結膜炎様の眼症状もみられる。

解答

D セロトニン症候群

—統合失調症治療薬などの投与中に惹起される症状で、高熱、発汗、頻脈などの自律神経症状と手足の振戦、筋強剛などの錐体路症状を呈する。

解答

E アナフィラキシー

—突然起こる呼吸困難が特徴で、特に夜間に発作性に生ずることが多い。臥位では苦しいため、起き上がる人が多い。

解答

採点

[]

平成20年度 薬学研究科修士課程選抜入学試験問題

科目番号	科目名	問題枚数	受験番号	氏名
16	臨床薬学 (臨床薬学部門)	No.3 3枚		

III. 以下の服薬指導内容(a)～(j)に対応する正しいものを、下記の医薬品群から一つ選び、解答欄にその番号を記入しなさい。(10点)

解答欄

- (a) 尿、唾液、汗、涙液が橙赤色に着色することや、ソフトコンタクトレンズが変色することがあります。 []
- (b) 脱力感、高度の空腹感、発汗、動悸、振戦、集中力の低下などが起こったら、急いでブドウ糖を摂取してください。 []
- (c) 急に中止すると、離脱症状が現れることがあるので、症状が軽快しても勝手に服薬を中止しないで、医師の指示した治療期間を守ってください。 []
- (d) 口腔内カンジダ症やしわがれ声を起こすことがあるので、吸入後にうがいをしてください。 []
- (e) 本剤の血中濃度が上昇して作用が増強する可能性があるので、グレープフルーツジュースの摂取を避けてください。 []
- (f) 喘息発作時に、口腔内に一回噴霧してください。過度の使用により不整脈や心停止などの重篤な副作用が発現する危険性があります。 []
- (g) 本剤の服用により口が渇くことがあります。氷片などを口に含むと楽になります。 []
- (h) 起床してすぐにコップ一杯の水とともに服用してください。服用後、少なくとも30分経ってから朝食を摂り、食事を終えるまで横にならないでください。 []
- (i) 空腹時に服用すると顔面のほてり、熱感の発現が多くなるので、食後すぐに服用するようにしてください。 []
- (j) 筋肉痛、筋腫脹やこわばり、脱力などが出現したら、服用をやめ、すぐに医師または薬剤師に連絡してください。 []

【医薬品群】

- | | | |
|--------------------|------------|---------------|
| 1. 塩酸プロカテロール | 2. プレドニゾロン | 3. リファンピシン |
| 4. プラバスタチン | 5. フェロジピン | 6. 塩酸アミトリプチリン |
| 7. プロピオン酸フルチカゾン | 8. ボグリボース | 9. ニセリトロール |
| 10. リセドロン酸ナトリウム水和物 | | |

採点	
----	--